顧問　川村保太郎

今回私共が向ふに行つた事に就て皆様に對し御報告申さなければならん責任がありますが御承知の通り斯ふ云ふ話は誠に面白くないもので爭議を見て來て報告する様な華かなものではないのであります國際勞働會議は國際的の協議機關であつて其の多くが上流社會の紳士諸君が而も靜肅に議事を進めて行くのであるから甚だ面白くない併しながら會議の性質が然ふ成つて居るから仕方がありません。大体に於て私共が「マルセイユ」に六月六日到着し其翌日汽車で「マルセイユ」から「ゼネヴア」に着きましたが夫れから何ふ云ふ工合に會議が開かれたかと云ふ事に就て一寸お話仕て見たいと思ひますが而して國際勞働會議が開會されたのは六月十六日であります。詰り私共が同月の七日に着いて十六日から會議が開かれたが各國の加盟せる三十九ケ國の代表者は政府代表、資本家代表、勞働代表等で政